認可日1995年8月10日　第三種郵便物許可　（毎週1回水曜日発行）
2017年11月23日発行　増刊通巻7221号　SSKS　ストロークグループニュース

SSKS ストロークグループニュース

No. 46
2017. DEC

CONTENTS

・ＮＰＯ法人ストローク会　１Ｐ
◇理事会および総会を開催
・ストローク･サービス　１Ｐ
◇近況報告
・ストローク･サービス　２Ｐ
◇業務連絡を開催しました
◇新人を紹介します！
・障がい者就職面接会　３Ｐ
◇パートナー　K. Rさん
◇事務局　熊谷
・　結の会　４Ｐ
◇就労までの道のり
・　ストロークグループ紹介　４Ｐ

ストローク・サービス

◇近況報告

冷え込みもぐっと強くなり、清掃員にとっては水仕事が辛い冬がやってまいりました。空気も乾燥してきたので、インフルエンザなどの体調管理をしっかりして、日々の業務に取り組んで行きたいと思います。

平成29年12月現在でストローク・サービスの利用登録者数は24名（定員13名）です。一般就労を目指す方も居ますので、来年は変化の年になるかと思います。

また10月から最低賃金が958円になり、昨年から26円も引き上げになりました。東京都は３年連続で最低賃金が上がった事になります。仕事での評価以外の昇給となりますので、給料に見合った仕事がこれからも求められていきます。

ＮＰＯ法人ストローク会

理事会および総会を開催

ストローク会は去る平成29年３月23日に平成28年度第１回理事会を開催しました。

平成29年度の事業計画と活動予算について話し合われたほか、定年をこれまでの満65歳から満66歳に引き上げる就業規則の変更案が示されいずれも満場一致で承認・可決されました。

平成29年度も前年までに引き続き、就労継続支援Ａ型事業所「ストローク・サービス」が最大の柱となり、従前行われてきた（公財）ヤマト福祉財団向けＤＶＤの制作や「日曜サロン」、「つどい」といった事業を行っていく予定です。とりわけＡ型事業所においては、マンパワー不足の解消が長らくの課題となっており、新規の職員採用･育成に注力していくと同時に、パートナー支援の質の維持･向上を目指し、職員の役割の明確化を進め、体制強化に努めていきます。

なお、法人全体の総事業費は8,000万円規模を見込んでいます。また、５月29日には第17回通常総会を開催し、平成29年度予算の第一次補正予算案、平成28年度の事業報告および決算報告が行われ、いずれも満場一致で承認・可決されました。

事業の柱であるＡ型事業所からは、前年度に二度目の受審となった福祉サービス第三者評価の結果を踏まえた改善計画に取り組んでいることが報告されました。

今回、評価者からは「事業所の雰囲気など、前回とは比べ物にならないくらい明るくなった」と好評価をされた一方で、マンパワー不足を解消し、手厚い支援が行える環境を早急に整えていくことが最大の改善点として浮き彫りになりました。

その他、新宿区内を中心に延べ22か所の日常清掃・定期清掃で働くパートナーたちの様子やその他の支援の様子などが報告されました。

ストローク・サービスより

◇業務連絡会を開催しました

10月28日（土）18:30から、参加者37名（パートナー、職員、関係者）による業務連絡会を行いました。日頃、各現場に分かれて作業しているため、業務連絡会は全体が集まる唯一の機会です。

今回は理事会の方々も参加して頂き、日頃作業している内容をみんなの前で実演を行う事で作業手順や清掃の意味合いなどを再度確認し、技術向上を図る内容でした。

先ずは理事の方々に挨拶を頂き、いざ実演開始。行った内容は【バキューム（掃除機）掛け】【ウエス（タオル）でのホワイトボード拭き】【カーペットのしみ取り】の解説を交えて実演を行いました。

日頃使っている「掃除機」「タオル」などの言葉はあえて使わず、プロ意識を持って清掃をしていく心づもりで、ストロークでは「掃除機⇒バキューム」「タオル⇒ウエス」の専門用語を使っています。

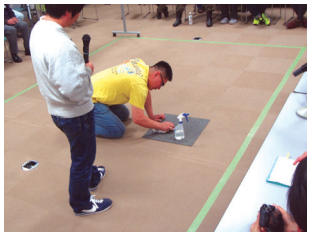
①バキュームはコードを出してから進行方向進むようにムラなく掛ける

②拭きの作業は、ウエスを八折にしてウエスが開かないよう抑えながら拭き、汚れたら裏返すなどをして面を変える

③カーペットのしみ取りは汚れの種類を確認後、外側から内側に拭くようにして汚れを広げないように気を付け、ウエスに汚れを移す。

など清掃にとって基本的な動作ですが、解説を交える事によって基礎を再確認出来たと思います。

参加した皆様からは「他の人の作業を見れて参考になった」「日頃話せない理事の方とお話し出来て良かった」「ちゃんと出来たか不安だけど、面白かった」などの意見がありました。



新人を紹介します!!

6月から入りました市場雅和です。

15年くらい前に、たまたま見つけたボランティアの募集広告から、過去にシステムエンジニアだった経験を活かして、6～7年ほどオフィスクローバーでパソコンのボランティアをやらせて頂いた事がありました。そして今年の春、別の会社で清掃の仕事をしていた時に偶然ストロークの求人を見つけ、何かのご縁だと思い勤務させていただくことになりました。ボランティアとは違い、職員になるという事でとても緊張しています。

趣味は映画観賞（主にスター・ウォーズとアベンジャーズシリーズ）と旅行で、最近では昨年妻とタヒチに行ってきました。きれいな海を見渡せる部屋に泊まってゆっくりとした時間を過ごすのが大好きです。

今までディズニーランドや都心の大きなオフィスビルなどで僅かではありますが清掃経験があり、ある程度活かせるものだと思っていましたが、あまりの清掃方法の違いに正直最初は戸惑いました。ですが、最近は少しずつ慣れてきて、経験した現場では何とか楽しく勤務できています。

まだまだ不慣れではありますが、よろしくお願い致します。

認可日1995年8月10日　第三種郵便物許可　（毎週1回水曜日発行）
2017年11月23日発行　増刊通巻7221号　SSKS　ストロークグループニュース

障がい者就職面接会

◇障がい者就職面接会に参加して

パートナー/K.Rさん

最初に応募する前に事務所で求人一覧表を見て、いくつか気になる企業を見つけることからスタートしました。

求人一覧表を見て、いくつか自分に合った条件の企業を探し、その企業のホームページを確認しました。そして規模や企業内用、障がい者雇用の実績や扱っている商品などを確認し、履歴書や職務経歴書を書きました。私はできませんでしたが、この段階でハローワークの職員の方に相談して自分の書いた書類の添削をして頂く事が出来れば、より良い結果に繋がったのではないかと反省しています。

面接会当日、まず人の多さに驚きました。後で聞いた話ですが、新宿区の方だけで100名を超すとのことだったので、全体の参加者は500人、もしかしたら1,000人近い人たちがいたのではないかと思います。それだけの障がいを持った人たちが面接会に参加し、頑張っているのだと思うと不思議と自分は一人じゃないのだと勇気が湧いてきました。

面接内容としては自己紹介、自己ＰＲなどを行い相手から障がいの状態の確認や仕事の内容、必要な合理的配慮が主で、会社によっては私の今までの仕事の内容や最寄駅等様々なことを聞かれました。

そのほかの受け答えについては、それなりにうまくできていたかと思いますが、言葉がスムーズに出てこない場面が多々ありましたので、面接の練習を何度か行うことでより良い結果に繋がるのではないかと思います。

今回、面接も面接会も初めての経験でしたが、企業に行って面接するより気が楽に出来たと思います。当日に職員のサポートがあったことも、一般の面接との大きな違いだと思います。

今回の面接で、結果に繋がらなくても経験は活きると思うので今後、また面接会があれば参加したいと思います。

◇障がい者集団面接会に同行して

事務局　熊谷

10月18日、ストローク・サービスでは東京ビッグサイトで開催されたハローワーク主催の障がい者就職面接会に参加してきました。参加企業約120社、事前にエントリーしていた障がい者約500名程とその支援者が訪れ、会場は大いに賑わっていました。

今回参加したパートナーは、あらかじめ志望する企業の情報をチェックしていたり、志望企業ごとに履歴書を工夫したり、本人なりに最大限の準備をして臨んでいたように思います。会場で多くの「ライバル」がいるなか、企業の担当者を前にしても臆することなく堂々としていました。

今回参加したパートナーも、もし今回の面接会で満足のいく結果が得られなかったとしても、下を向く必要はないと考えます。面接の練習ができた、あるいは似たような立場にあって就職活動中のライバルが大勢いる雰囲気に慣れるという経験が積めたと考えれば、得るものの方が多かったと前向きに捉えるべきだと思いますし、なによりも目標に向けて一歩踏み出すことができた勇気を称えたいと思います。本人にとっても事業所にとっても、今回の経験は今後への糧として、またとないよい経験になりました。

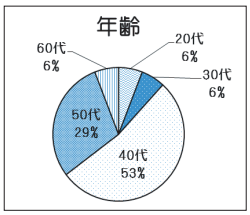
パートナーの中には、「一般就労へ向けた訓練」という位置づけでＡ型事業所の利用を始めたものの、ストローク・サービスは働きやすく居心地が良いために、わざわざ環境を変え、リスクを負ってまで一般就労を果たさなくても良いかという考えに変わってしまっている可能性もあるかもしれません。しかし、当初の希望がそうであったように、自身のキャリアのゴールは一般就労であるという目標は決して失ってほしくないと思います。事業所としても、パートナーが一般就労を本格的に目指すケースが増えてくることを考えて、求人情報や就職セミナーなどのイベント情報へもアンテナを張り巡らせ、履歴書や職務経歴書の書き方面接の受け方といった就職活動へのより実践的な支援スキルを高めていく必要性を強く感じました。

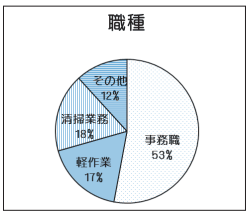
認可日1995年8月10日　第三種郵便物許可　（毎週1回水曜日発行）
2017年11月23日発行　増刊通巻7221号　SSKS　ストロークグループニュース

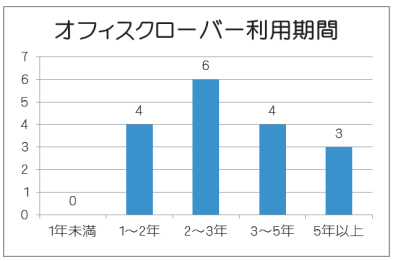
結の会　『就労までの道のり』～就職したＯＢへのアンケート調査より～

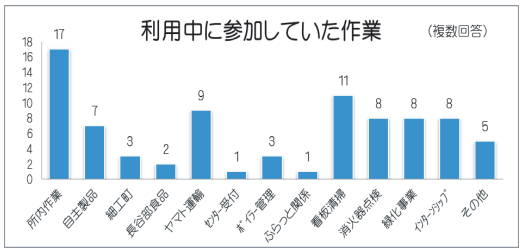
「オフィス クローバーを卒業して就職して行った人たちは、どんなプログラムに参加していたんだろう？」「今は会社にどんな配慮をしてもらっているんだろう？」「就職するにあたって、自分がしておくべきことは何だろう?」などなど、オフィス クローバー通所中の利用者から「ＯＢの話を聞きたい!!」という声がたくさんあがりました。利用者からの質問を取りまとめ、19名のＯＢを対象にアンケート調査を行いました。ＯＢが就職してどう変わっていったかに焦点を当ててアンケート調査の一部を抜粋してご紹介します。

オフィスクローバー通所中について









就職してからについて

【会社に配慮してもらっている事】
◆ここ1年半の間はかなり仕事量を減らしてもらっている。
◆頭痛や抑うつがひどい時には遅刻、早退をさせてもらったり、会議室で横になったりしている。下痢の時は早退させてもらっている。
◆過呼吸のため就業時間より早く出勤させてもらっている。
◆静観し見守ってくれている。

【オフィス クローバー通所時の自分と比較して変化した事】
◆社会に復帰して、仕事、プライベートが充実している。
◆服薬を意識するようになった。対処する方法が増えた。
◆体力が少しつき、行動範囲が広くなったと思う。
◆お給料をもらっているので「責任」がいつも頭の中にある。
◆体力と我慢強さが身についた。
◆周りの方々に助けていただきながら安定した収入を得られるようになった。
◆通院への配慮（平日受診）。
定例報告会で体調など相談にのってもらっている。

まとめ

オフィス　クローバーで所内外の作業に従事し、体力等を付けて就職をしていったＯＢ達は、企業に様々な配慮をしてもらいながら、また自らは心の病と上手に付き合いながら、自分の出来る精一杯の力を出し日々働いていることがわかりました。働くことにより自身の生活がより豊かになり、大変だけれど社会の一員として充実した日々を送っていることを知ることができました。ご協力に感謝！

NPO法人ストローク会

★平成24年度から“就労継続支援Ａ型事業所”「ストローク・サービス」を開所しました。
その他の事業として精神障がい者の就労・生活に関する支援、ニュースの発行、清掃技術指導員の派遣、就労に関する調査、日曜サロン”つどい”等を実施しています。
★会員数：賛助会員73人、正会員10人、団体３
法人本部／ストローク・サービス

〒161-0031　東京都新宿区西落合2-20-16
POEMビル1F
TEL:03-5996-9533／FAX:03-3954-1130

（社福）結の会

★オフィスクローバー
（就労継続支援Ｂ型事業所）
一般企業での就労及び期間付きの就労移行支援の利用では自信が持てない人に、働く場を提供し知識及び能力向上のために必要な訓練を行います。

〒169-0075　新宿区高田馬場3-18-25
第一康洋ビル7階
TEL：03-3365-4177／FAX：03-3365-4178
E-mail：yuinokai@axel.ocn.ne.jp
URL：http://yuinokai-clover.com

発　行　人：障碍者団体定期刊行物協会　　東京都世田谷区祖師谷3-1-17
編　集　人：NPOストローク会　〒161-0031　東京都新宿区西落合2-20-16 POEMビル1F
E-mail：info@stroke-kai.jp　URL：https://stroke-kai.jimdo.com/
定　　価：100円